

科目名	開講期間	必修/選択	担当者名
ステップアップするために -これまでの私とこれからの私-	前期	必修	手嶋慎介

【授業の目的と概要】

若手社員を対象に、ひとつ上のステージで仕事をするために必要な考え方を身に付けることを目的とする。

授業は、4つのステップで構成され、これまでの自分(過去)、世の中の動き(現在～未来)、これから必要な能力(現在～未来)の3つを統合してこれからの私(未来)を考える構成になっている。

【授業計画】

※実践的な授業方法…①企業等、②双方向、③実務家教員・実務家、④実地

回数	テーマ 授業内容の概要	実践的な 授業方法
1	<p>イントロダクション、この講座で何を学ぶのか</p> <p>講座の概要を聞き、自分なりの課題や学びを明らかにする。この講座ではグループワーク等を多く取り入れている。そのため、スムーズなグループワークの第1歩として、お互いの自己紹介を行う。自己の抱える課題をお互いに共有することで、解決の糸口を見つけることなども目的にしながら、コミュニケーションを図り、授業に臨む姿勢をつくっていく。</p>	②
2	<p>これまでの私～仕事の棚卸し～</p> <p>STEP1 第2・3回 これまでの自分を明らかにする</p> <p>職務経歴書を作成する。主に、入社からこれまでの間に自分が担当者した仕事は何か、どのような成果(失敗)があったか。それにより身に付いた知識・能力・スキルは何かを洗い出す。グループワークとして、作成した職務経歴書を他者に説明し、他者からの意見を加え、客観的な立場でこれまでの自分を振り返る。他者からの視点により、客観性を養うことを目指す。</p>	②
3	<p>私のキャリア・アンカーと労働価値</p> <p>エドガー・シャインのキャリア・アンカーおよび、14の労働価値について学び、自己のキャリア・アンカーおよび、労働価値の優先順位を考える。グループワークとして、労働価値についてお互いの優先順位を述べ合う。これにより、自己の価値観の再確認、他者の価値観からの学びを得ることや、他人と自分とは価値観が異なることを理解し合う。</p>	②
4	<p>世の中の動きと求められる人材</p> <p>STEP2 第4・5回 社会の変化について理解する</p> <p>変化の時代に産業構造はどのように変化する可能性があるかを学ぶ。また、その様な時代において求められる人材とはどのような人物を指すのかを考える。グループワークとして、起こり得る変化は、我々労働者にとって、メリット・デメリットを考える。これにより、広い視野で変化を捉えることの重要性を学ぶ。</p>	②

5	ワークライフバランスとダイバーシティを考える	②
	<p>社会環境変化の中でも個人の働き方に関して今後大きく影響してくると思われる、ワークライフバランスおよびダイバーシティとは何かを学ぶ。ここでは理論だけではなく、現実の企業におけるワークライフバランスを功罪両面から捉え、個々人のワークキャリアとライフキャリアの2面を考える。個々人の考えたワークライフバランスについてグループで共有し、意見を述べ合うことでワークライフバランスについての理解を深める。</p>	
6	論理的思考を鍛える	②
	<p>STEP3 第6～8回 これから求められる力について体感する</p> <p>論理的思考とは何か、実際に三角ロジックのツールを用い、フェルミ推定が必要とされる答えのないものの答えを導き出すことを体験する。</p> <p>指定した課題について、各自で三角ロジックを用いて、論理的に結論を導き出す。課題については、学生からの発表も行い、その内容について議論を行う。</p>	
7	合意形成を目指した話し合いの重要性	②
	<p>ぶつかりあうことから逃げずに、論理的かつ、相互の感情に留意しながら合意形成を得る話し合いとはなにかをグループワークを通して学ぶ。グループワークでは、ある課題をグループメンバーで話し合い、解決の方法を導き出す。このワークを行うことで、合意形成を得るための話し合いの方法を理論のみならず、感情で動く人とのやりとりの難しさについても体感する。</p>	
8	リーダーシップとは何か	②
	<p>リーダーシップとはリーダーのみに求められる能力ではない。真のリーダーシップについて正しく理解し、自分にはどの程度備わっているかを考える。</p> <p>事例に基づき、リーダーシップを発揮する場面、その具体的内容について各自検討し、発表を行い、議論する。</p>	
9	これからの私	②
	<p>STEP4 第9・10回 ステップアップのために今日からすべきことを考える</p> <p>これまでの学び、体験を踏まえて、今日からの自身の意識の持ち方、行動の在り方について具体的に考え、計画を立てる。</p> <p>各自の課題として、今後の計画を立案し、次回の発表のための準備を行う。</p>	
10	「これからの私」発表と振り返り	②
	<p>第9回で作成した行動計画をグループないしは、全体に向けて発表し、相互にアドバイスを行い、よりよい計画書に仕上げる。講座全体のまとめを行う。</p>	

【授業の到達目標】

- ・世の中の変化、それに伴う求められる人材について理解できる
- ・自分の将来について方向性を定めることができる
- ・将来進みたい方向に対し、これから自分が何をすればよいか、具体的な計画が立てられる

【成績評価方法】

- ・授業参加状況(50%)

ポートフォリオを用い、授業の振り返りを毎回行う。

その書き込み状況から見た授業に対する理解度や意欲、グループワークでの貢献度等から判断する。

- ・課題（40%）

授業内に課した課題。ルーブリック等を用いて採点を行う。

- ・レポート（10%）

授業の最後に課すミニレポート。

【テキスト・参考図書】

- ・テキスト…プリント配付
- ・参考図書…授業内で適宜紹介